

第一集 (1982・3)

和泉国大野寺土塔の源流	井上 薫……………1
朝鮮三国時代の弥勒浄土磨崖像	毛利 久……………12
朱昂之筆「具門荒政冊」	古原 宏伸……………23
笠置曼荼羅の性格	中島 博……………44
福德 - その心の考古学	水野 正好……………54
大園遺跡における古墳時代集落の変遷	丹羽 佑一……………65
石刃 - 先土器時代研究における用語概念の二・三の問題-	山中 一郎……………86
須恵器甕の製作技術	植野 浩三……………97

第二集 (1983・3)

古代詩歌に現われた精練と漂白-万葉歌を中心として-	新井 清……………1
粉河寺縁起絵巻考 - 巻頭部の復原をめぐる-	塩出貴美子……………9
馬・馬・馬 - その語りの考古学	水野 正好……………23
須恵器蓋杯の製作技術	植野 浩三……………45
Settlement archaeology: その考え方と手法	酒井 龍一……………(1)

第三集 新井清先生送別記念論集 (1984・3)

新井清博士履歴及び業績	……………1
東大寺法華堂の伝日光・日光菩薩像	毛利 久……………7
鑑真仏の諸問題	井上 薫……………15
想青籬記初巻	水野 正好……………27
弥生時代中期・畿内社会の構造とセトルメントシステム	酒井 龍一……………37
前方後円墳の築造方法 (一) - 鳥取県西穂波一六号墳を例にして-	植野 浩三……………53
平城京と葬地	金子 裕之……………67
雨乞習俗としての南無天踊について - 大和の南無天踊図奉納絵馬にみる所謂民俗の歴史的視座	奥野 義雄……………105
パンスヴァンロー-その研究史的位	山中 一郎……………(1)

第四集 (1986・3)

鬼神と人とその動き - 招福除災のまじなひに	水野 正好
石器組成からみた弥生人の生業行動パターン	酒井 龍一……………19
伯州大山寺藏厨子銘板の科学分析による製作技法の研究	西山 要一……………39
吉備大臣入唐絵巻考 - 詞書と画面の関係-	塩出貴美子……………53
神々に祀る人形 - 民俗事例と文献史料を中心として-	奥野 義雄……………75

第五集 井上薫先生送別記念論集 (1987・3)

送別記念論集の刊行にあたって

井上薫博士 履歴及び業績目録

画禅室随筆札記(下)

中世 -その葬と祭と

瀬戸内海北岸における弥生セトルメントシステム

カルタから見た松浦屏風の制作年代

.....	1
古原 宏伸	11
水野 正好	35
酒井 龍一	57
壽川美由紀	69

第六集 毛利久先生追悼論集 (1988・3)

毛利久先生を追悼する文

毛利久先生追悼 深い史料の読みとウェットな眼

故毛利久博士 年譜及び業績目録

初期須恵器窯の解釈をめぐって

仏像光背の研究 -飛天光背と板光背の変遷についての考察-

法隆寺献納金銅仏丙寅年銘菩薩半跏像について

仏像光背の装飾文様 -特に法隆寺夢殿観音像について-

考古学の教科書 -奈良大学文化財学科における考古学の講義から-

古原 宏伸	
井上 正	
.....	1
植野 浩三	7
松本 彩	19
高橋 平明	37
村松まり子	57
酒井 龍一	(1)

第七集 (1989・3)

初期農耕開拓活動の諸形態

平安時代平象嵌技法の研究

地形的条件からみた遺跡の立地および分布状況の研究

-大和郡山市を中心として-

中世公家・武家の祖先祭祀習俗をめぐって

-中世公家および武家の日記からみた春秋彼岸を中心に-

酒井 龍一	1
西山 要一	17
山川 均	43
奥野 義雄	69

第八集 (1990・3)

石濤「黄研旅度嶺図巻」

道教とまじなひ -東アジア・日本における交流

様々な考古学 -奈良大学文化財学科考古学の授業から(2)-

西日本凸帯文土器の編年

古原 宏伸	1
水野 正好	31
酒井 龍一	45
泉 拓良	55

第九集 (1991・3)

棟持柱をもつ掘立柱建物の構造復原

紙魚想考(四)

初期須恵器窯の系譜について -大蓮寺窯跡を中心にして-

岡田 英男	1
水野 正好	17
植野 浩三	25

第十集 (1992・1)

蜀江錦三種

岩田 敦子	1
-------	---

三仏寺蔵銅鏡の諸問題	松田 美佳……………19
建築規矩術を中心とした建築構造技法の史的発達に関する研究	岡田 英男……………(1)
第十一集 (1993・3)	
古代建築の上部構造	岡田 英男…………… 1
埴輪生産と須恵器工人 -奈良県ウワナベ古墳の須恵器を中心にして-	植野 浩三……………27
パルミラ語碑文・人名一覧	酒井 龍一……………41
第十二集 (1994・3)	
古代から中世にいたる疎垂木の技法	岡田 英男…………… 1
十巻本「高野大師行状図画」の写本について -延暦寺本を中心に-	塩出貴美子……………15
中世公家の孟蘭盆習俗をめぐる(その二)	
-中世公家・武家社会の孟蘭盆習俗の諸相を中心に-	奥野 義雄……………43
兵庫県ボラ山1号墓発掘調査概要報告	奈良大学文学部考古学 研究室……………(1)
第十三集 井上正先生送別記念論集 (1995・3)	
井上正先生を送る言葉	古原 宏伸
井上正先生 年譜及び著作目録	…………… 1
研究生活40余年	井上 正……………17
偽作の季節 -1950年代の張大千-	古原 宏伸……………27
建造物修理初期の批判と現在の施工上の問題点	岡田 英男……………57
産育祝儀三題	水野 正好……………71
銅鐸の話・入門編	酒井 龍一……………81
三寅劔の象嵌技法とX線透過写真・エミシオグラフィーによる研究	西山 要一……………99
本證寺蔵「高野大師行状図画」考 -十巻本系写本の補考をかねて-	塩出貴美子……………109
最古の須恵器形式設定の手続き	植野 浩三……………123
第十四集 (1996・3)	
米芾『画史』考釈(三)	古原 宏伸…………… 1
産育祝儀三題(二)	水野 正好……………41
考古学的社会変成過程観察モデル	酒井 龍一……………53
堂山古墳群と久米田古墳群出土須恵器の検討	植野 浩三……………63
兵庫県見長大歳神社古墳の石室測量調査報告	奈良大学文学部考古学 研究室……………(1)
第十五集 (1997・3)	
米芾『画史』考釈(六) -表具-	古原 宏伸…………… 1
信州飯田文永寺骨堂考	水野 正好……………17

弘法大師伝絵巻考 - 諸本の分類と概要 -	塩出貴美子……………31
古代の農耕にみる労働手段の農耕具とその所有をめぐって	
- 古代の農耕儀礼、農耕具、そして労働手段の所有に関する描写 -	奥野 義雄……………47
区画溝と周溝墓 - 滋賀県五村遺跡の調査成果をもとに	植野 浩三……………61
パルミラ語碑文研究 1 - 予備作業 -	酒井 龍一……………(1)
第十六集 岡田 英男・古原 宏伸先生送別記念論集 (1998・3)	
文化財学科の両輪が去られる - そのさびしさの中で	水野 正好
岡田英男先生 年譜及び著作目録	…………… 1
古原宏伸先生 年譜及び著作目録	……………11
古代仏教寺院の礼拝空間と礼拝石	光森 正士……………15
天正六年七月廿日 『多聞印日記』の中の一 日 - 話題の背景	水野 正好……………55
大気汚染が文化財に与える影響 - 石造文化財と金属製文化財の被害 -	西山 要一……………67
五世紀後半代から六世紀前半代における須恵器生産の拡大	植野 浩三……………81
楔形文字学習講座	酒井 龍一……………(2)
米芾《画史》語彙索引	古原 宏伸……………(1)
第十七集 光森正士先生追悼記念論集 (1999・4)	
光森先生を悼む - 脈々と息づく学灯の中で -	水野 正好
光森正士先生 年譜および著作目録	…………… 1
四年間を回顧して	光森 正士…………… 7
文献史料からみた法隆寺の火災年代	東野 治之……………11
総持寺蔵「高祖大師秘密縁起」考 - 新出断簡の紹介をかねて -	塩出貴美子……………21
猪名川町の木喰仏 - 調査概報 -	栗田美由紀……………63
土器棺の副葬品 - 西日本の状況 -	角南総一郎……………93
東アジアの古代象嵌銘文大刀	西山 要一……………(3)
パルミラ地下墓の研究 (1)	泉 拓良……………(9)
楔形文字学習講座 2 - アッカド語と新アッシリア文字 -	酒井 龍一……………(1)
第十八集 (2000・3)	
大和における須恵器生産の特質	植野 浩三…………… 1
Report of the trip under The JDR 3rd Foundation	古原 宏伸……………(5)
古アラム語によるセフィレ碑文の検討 (1)	酒井 龍一……………(3)
古代政治領域の空間分析	野田 卓・岩山 欽司・
- 国衙・郡衙の空間データベースの構築と分析 -	泉 拓良・碓井 照子 ……(9)
都と甕 - 七世紀飛鳥・藤原地域における煮炊具の研究 -	渡邊 淳子……………(1)
第十九集 (2001・3)	
我が近代漆工史序説	灰野 昭郎…………… 1

東アジアの中の富本鏡

パルミラの有名人・ハイラン

東野 治之……………23

酒井 龍一……………(1)

第二十集 (2002・3)

昭和八年(1933)を漆で語る

考古学論文の考古学(試論)

灰野 昭郎…………… 1

酒井 龍一……………(1)